

週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ～10 時
祈 祷 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第3・午後2時)
●夕の祈禱会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

3223 2026 年 8 月 23 日

礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第 14 主日)

司式者 井 殿 準

奏楽者 菊 池 洋 子

前 奏	奏 楽 者
招 詞 詩編 29:1～2	司 式 者
讃 美 歌 10 「今こそ人みな」(1～5 節)	一 同
聖 書 マルコ 12:1～12 (新 P. 85)	司 式 者
使徒信条 (93-4-A)	一 同
祈 祷	司 式 者
讃 美 歌 129 「私の望みは」	一 同
説 教 「主の執り成しがあつてこそ」	司 式 者
祈 祷	〃
讃 美 歌 338 「勝利の喜び」	一 同
献 金	〃
主の祈り (93-5-A)	〃
頌 栄 24 「たたえよ、主の民」	〃
祝 祷	司 式 者
答 唱 40-6 「アーメン」	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	
報 告	司 式 者
讃 美 歌 92 「主よ、わたしたちの主よ」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「主がお呼びですよ」

(マルコ 10:46～52)

エリコの町にバルティマイという名の盲人がいた。彼は物乞いをする以外に生きる術を持っていなかったと思われる。また、目が見えないことを理由に、「罪人」との烙印を押されて蔑まれたり、神殿の境内への出入りを禁じられたほか、酷い扱いをされることも多かったことだろう。

そんなある日、彼は主イエスがエリコに来ていることを知る。そして、主が近くにいることを察知した彼は、大声で何度も「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」と叫び出した。周囲の者は彼を黙らせようとしたが、彼は「この機会を逃せば、もう二度と目が開かれるチャンスはない」と、ますます声を張り上げて叫び、その声はついに主に届く。

バルティマイの目は開かれた。「ダビデの子」という言葉は、「救い主」「メシア」と同義と言えるが、彼は、目が見えなくても、彼の心の目には、主イエスこそが「救い主」であることが、はっきりと見えていたと言える。では、我々はどうだろうか？

バルティマイが叫び始めた時、周囲の人々は、彼を叱りつけて黙らせようとしている。彼らの多くは、バルティマイの存在をよく知るエリコの町の住人であつたと思われるが、彼らにはバルティマイの心の痛みが全く見えていない。同様に、我々も、他者の心の痛みが見えていないことがしばしばある。何かを訴えて叫んでいる人を見て、「うるさいな」としか思わないこともあるが、そのような我々は、主イエスの御声にしっかりと耳を澄ます必要がある。

「うるさい」「黙れ」とバルティマイを叱りつけた人々は、「あの男を呼んで来なさい」(＝「あの男も神に愛されている一人だ。私も彼を愛している。呼んで来なさい」)という主の言葉を聴いて、「安心しなさい。主がお呼びだ」と優しく語りかける者に変えられている。我々も、彼らのように、隣人に優しく語りかける者、隣人に愛を差し出す者、「主がお呼びですよ」と隣人を招く者へと変えられて行くために、いよいよ主イエスの御声に耳を澄ませることに日々努めて行こう。